

鼠径ヘルニアの手術を受けられる患者様へ

患者氏名(@PATIENTNAME) 担当医師() 担当看護師()

経過	手術前日(/)	手術当日(前)(/)	手術当日(後)(/)	術後1日目(/)	術後2日目(/)	術後3日目(/)
達成目標	手術の準備を整えることができる。	不安なく手術を受けることができる。	・血圧などに異常がない ・痛み止めを使いながら、傷の痛みをコントロールすることができる。	痛み止めを使いながら、傷の痛みをコントロールすることができる。	退院後の生活での注意点を理解できる。	自宅で痛みがある際の対処法がわかる
治療		術衣に着替えます。(その際下着は新しいものに履き替えてください。) 術後の深部静脈血栓症予防のため、手術室へ行く前に弾性ストッキングを着用します。 手術は 時 分頃からです。	・手術後、心電図、酸素マスクをつけます。 ・フットポンプをつけます。 ・点滴があります。 ・痛みが強い時には痛み止めを使います。 (手術後より痛み止めの内服が始まります。)	朝、医師の診察があり、診察後に酸素マスクと心電図を外します。 点滴は終了しましたら針をぬきます。		
処置	手術する部分の毛を剃ったり、おへその処置をします。	午後からの手術の時は点滴をしてから手術へ行きます。				
薬剤	今まで飲んでた薬があれば医師の指示に従ってください。					
検査						
安静度	病院内自由です 病棟外へ出られるときは看護師に声を掛けてください	トイレを済ませ、歩いて手術室へ行きます。	手術後はベッド上安静です。	病院内自由です。 (初めて歩く時は看護師が付添います) 弾性ストッキングを脱ぎます。		
栄養	24時まで食事ができます。水分が飲める時間は看護師がお伝えします。	水や食事を摂ることは出来ません。うがいや歯磨きは出来ます。	手術後4時間経ちましたら少しずつ水をとる事ができます。	昼食より食事が始まります。		
清潔	手術する部分(両側の鼠径)の毛を剃った後に入浴します			創部に防水の絆創膏を貼り、シャワー浴ができます。		
排泄			ベッド上で排泄します。 (尿の管が入ることもあります。)			
教育			ご家族に手術結果を説明します。			
指導	クリティカルパス(この用紙)を用いて手術の流れを説明します				退院後の生活で注意してもらいたいことを説明します。	退院時に次回外来日と薬について説明します。
説明	主治医及び麻酔科医が手術や麻酔についての説明をします。 手術室看護師が訪室します					